



# South Bayside System Authority

Providing wastewater services to residents and businesses in  
Redwood City, San Carlos, Belmont, and West Bay Sanitary District

SBSA BULLETIN

Summer 2009

## SBSA Commission

**Jeff Ira** Chair  
Redwood City Council Member  
**Ronald W. Shepherd** Vice Chair  
West Bay Sanitary District Member  
**Robert Grassilli** Secretary  
San Carlos Council Member  
**Warren Lieberman**  
Belmont Council Member  
Board Member

## SBSA Offices

1400 Radio Road  
Redwood City, CA 94065  
Phone: 650-591-7121  
Fax: 650-591-7122  
E-mail: [dchild@sbsa.org](mailto:dchild@sbsa.org)

## SBSA Staff

**Daniel T. Child**  
Manager  
**Kenneth Kaufman**  
Technical Services Manager  
**Linda Bruemmer**  
Support Services Manager  
**Andrew Baker**  
Operations & Maintenance Manager  
**Teresa Herrera**  
Engineering Manager  
**Donna Allen**  
Environmental Health & Safety  
Manager

## Manager's Corner

ダニエル・チャイルド  
南部港湾システム機構 (South Bayside System Authority: SBSA)  
事務局長



### ディスポージャーの使用が SBSAシステムにもたらすメリット

ディスポージャーの使用は、SBSAの排水処理システムにとってメリットがあります。長い間ディスポージャーは、良くないものというレッテルを貼られてきたのですが、実際にはSBSAにとって非常にメリットがありますし、最も効果的で経済的なリサイクル方法の一つなのです。

埋立て処分場に埋められる廃棄物の約30%は生ゴミです。そのため、ディスポージャーの使用を勧める排水処理施設が増えつつあり、固形廃棄物収集業者も、生ゴミを分別してコンポスト化することを市民に呼びかけているのです。サンカルロス (San Carlos) など一部のコミュニ



ティでは、一戸建て住宅から出る生ゴミを庭ゴミと一緒に集め、埋立て処分に回さないようにする試みを始めています。

SBSAの立場から申し上げますと、あなたがディスポージャーをご使用になれば、排水処理施設にとっても環境にとってもメリットがあるのです。

ディスポージャーの適切な利用に当たっては、まず生ゴミを事実上液体と見なし (し尿と同じく、生ゴミの平均70%を水分が占めます)、液体管理用の既存インフラ (地下下水道および排水処理施設) を利用することが前提となります。SBSAなどの近代的な排水処理施設は、有機固形物を安定生成物 (バイオソリッド) として知られています) にまで処理・分解し、メタンを回収するのに有効です。回収されたメタンは、エネルギーを生産し処理過程全体の動力費を相殺するコジェネレーション設備で使用されます。

実際に、SBSAでは現在、排水処理施設の稼働に必要な動力の約30%を生産しており、生ゴミ (料理に使った油を除く) をディスポージャーで処理するよう住民に勧めることで、この割合を上げていきたいと考えています。今後は、この実践を働きかける情報を地元メディアで目にする機会が増えるでしょう。

ディスポージャーを推進する様々な調査によると、自治体の下水道システムは粉砕した生ゴミを効果的に処理できると結論づけています。数十年にわたる調査とディスポージャーの使用が広く普及していることもまた、生ゴミを収集車・埋立地・焼却施設に回さないようにするに当たり、ディスポージャーが果たしている役割を裏づけています。ディスポージャーの使用により、生ゴミ処理のカーボンフットプリントは劇的に削減されます。

VISIT OUR WEBSITE

[WWW.SBSA.ORG](http://WWW.SBSA.ORG)

ディスポーザーには、世界中でさまざまな呼び名があります—カナダではGarburator、日本では生ゴミ粉碎機と呼ばれますが、これらはほんの一例に過ぎません。しかし、呼び名の違いにかかわらず、現在までに世界中の25以上のコミュニティで、ディスポーザーの使用が下水道と環境に及ぼす影響について調査され、下水道への悪影響はなく、逆に環境へは利益をもたらすという結果が報告されています。これらの調査に関しては、以下のURLで概要を閲覧することができます。

[www.insinkerator.com/environmental/wastewater\\_treatment.shtml](http://www.insinkerator.com/environmental/wastewater_treatment.shtml)

[www.insinkerator.com/pdf/Summary\\_of\\_Research\\_2006.pdf](http://www.insinkerator.com/pdf/Summary_of_Research_2006.pdf)

ニューヨーク市では、雨水と汚水を同じ管で流す合流地域でのディスポーザーの使用が以前は禁止されていました。しかし、市議会は市環境保護局に、ディスポーザーの使用が環境、公衆衛生、上下水道運営費に与える影響について調べる21カ月間のパイロット・プロジェクトの実施を命じました。この調査では、油と固形生ゴミにより下水道が受ける影響や、水消費量への影響、汚染物質負荷が増加した場合の受水域への影響といった問題点について検討されました。この調査から、いずれの地域においてもディスポーザーの影響は軽微なものであることが結論づけられたため、合流地域でのディスポーザー使用禁止は撤回されました。この調査についての詳細は、以下のURLで閲覧することができます。

[www.insinkerator.com/pdf/grinders.pdf](http://www.insinkerator.com/pdf/grinders.pdf)

SBSAにとって、ディスポーザーの普及は大きな利益になります。私たちの立場から申し上げるならば、皆さまにディスポーザーを適切な方法で使っていただきたい。そうすることで、私たちの事業と環境に役立っていただきたいのです。

(日本エマソンISE事業部訳)